

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.344

■ 自動車工学関連講座（新人・若手社員向けWebセミナー）  
第1回「自動車部品の製造工場における安全教育」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、昨年度に引き続き、会員企業の皆様のアンケートにお応えし、新人・若手社員の社内研修として会員企業の皆様のお役にたてるよう、新人・若手社員の皆様に必要な自動車部品の製造に関する基本的なスキルを身につけていただくため、自動車工学関連講座新人・若手社員向けWebセミナーとして、「自動車部品の製造工場における安全教育」、「製造現場での5S」、「自動車の構造と製造工程」、「製造現場の品質管理」の4回連続の講座を開催します。

今回は、第1回「自動車部品の製造工場における安全教育」として、日常の生産活動において、企業の礎と言われている「安全」について、工場で働く新入社員や若手社員の皆様には最も基本的な事項を理解して身につけていただき、また、管理監督者の皆様には法律上からの責務の重さを再認識していただく安全集合研修としてご活用いただくため、当センターの堀センター長の開講の挨拶に続いて、隅田技術コーディネーターが講師となってWebセミナーを開催しました。

- 日時：2026年4月9日（木）13時30分～14時40分
- 場所：Web形式
- 参加者：58社／317名



自動車工学関連講座(新人・若手社員向けWebセミナー)  
自動車部品の製造工場における安全教育

2026年 4月 9日 (木)

次世代自動車センター浜松

1. 「安全」とは何か？ 前書き

製造業における労働災害

上のグラフを見ると、死者が出た労働災害の原因は、製造業において1位がはさまれ・巻き込まれ、2位が転倒、3位が墮落・転落という結果になっています。これだけではなく、労働現場から発生するヒューマンエラーに起因するものだと考えられます。定期的に安全講習を開催し、現場の危険性や安全に対する意識を再確認していく必要があるとされています。

3. 安全に作業するポイント(10項目) 安全に作業をするポイント! (10項目)

安全作業のための10のポイント

1. 清潔で正しい服装に心がけよう
2. 積極的態度で仕事に取り組もう
3. 安全のルールを守ろう
4. 常に4S(整理・整頓・清掃・清潔)を保持しよう
5. 自主点検のしかた
6. 保護具は正しく身につけよう
7. 安全カバー・安全装置の扱い方
8. 物の扱い方、運搬のしかた
9. 職場に入ったら作業標準を正しく守ろう
10. 機械作業と安全

3. 安全に作業するポイント(10項目) 4. 常に4S(5S)を保持しよう

● 5Sとは

整理 Seiri	要るものと要らないものを明確に分け、要らないものを処分すること
3S 整頓 Seiton	必要なものを必要な時にすぐに使用できるように、各々決められた場所に置くこと。
4S 清掃 Seisui	ゴミや汚れは掃除を行い、常に綺麗な状態に保つこと。
5S 清潔 Seiketsu	奇麗で、衛生的な状態であること。
5S 躰 Shitsuke	決められた事を正しく守る習慣をつけること。

6. 管理監督者の方へ 安全職場構築へのお願い事項

《安全職場構築へのお願い事項》

1. 企業で活用推進「割れ意理論」、「5S展開」  
今回、紹介させて頂いた「割れ意理論」、「5S展開」を各企業の中で検討してみてください。  
・割れ意理論  
・5S展開
2. 管理監督者は「小さな乱れを放置しない」ことが大切  
管理監督者は割れた窓を見つけたら部下からイヤだと思われても注意をし、正してください。
3. 管理監督者は自信をもって指導を  
従業員の安全を守るために管理監督者は自信をもって指導してください。  
※注意として「パワハラにならないような指導が重要です。」

## 【参加者の声】

- ・ 製造現場における危険や危険に対する意識付けについて詳しく学ぶことができた。また、具体的に何を心がけどういった行動をとるべきかを知ることができ、安全に作業を行うための知識が身についた。
- ・ 災害・事故が発生する理由や安全に作業するポイント、発生防止策を詳しく学ぶことができ、弊社工場でも内容を共有し作業員へ教育を実施したい。
- ・ 実際に現場での作業時に遭遇する状況が例として出されていたこともあり、これから実際に実践できる対策や行動があげられていると思った。
- ・ 当たり前だと認識しているようなことだったが、日常のなかでは忘れがちになりそうなことが多く参考になった。安全に業務を遂行するために、どのようなことに気を付けなければいけないのか日々思い出しながら業務にあたる必要があると感じた。
- ・ 「人間はミスをする」を前提に考えることの必要性が参考になった。日々の業務における安全作業を振り返る機会となった。安全に作業することは皆が1度は理解していることだと思うが、マンネリ化してこれを忘れてしまったり、気が緩んでしまったりすることで、けがをしてしまうので、定期的に教育や講習を受けて再認識することが大切だと思った。
- ・ 学生から社会人になり今まで緩んでいた安全意識を引き締めるとても良い機会になった。会社のためにも自分のためにも本質安全化を進めたいと感じた。
- ・ ”知らなかった”が事故の発生原因にもなるので、新入社員の今こそ気を引き締めていきたい。注意しろと言われた中には今までの経験値から言われていることなので、よく聞いて行動していきたい。
- ・ 事故や災害が起こる直接原因の前には間接原因があることを知った。自分と照らし合わせると間接的原因の心身の問題や作業の理解が不十分なまま進めてしまう業務の取り組み姿勢に問題があると感じた。事故が起こりにくい状態にするために、生活リズムを整える、心身の疲労を回復させる、他にも作業手順書を遵守し、不明点のある作業は行ないなど、安全に十分配慮して行動していきたい。
- ・ 仕事の取り組み姿勢について、「教えられたことを理解していない=できない=思い込み作業」という考え方は、新たな発見だった。
- ・ 今回このセミナーを受講し、労働災害を発生させないために、ルールへの遵守と5Sの徹底を実施することで不安全行動、不安全状態を無くすことが有効であると感じた。
- ・ 安全教育をすることで、どこに危険が潜んでいるかがわかるため、災害を未然防ぐことができる。5Sの重要性を改めて認識することができた。
- ・ 保護具の種類、使い方を学ぶことができ、工場内でのルールを色々知ることができた。
- ・ 安全装置に頼らない自己防衛の大切さを改めて認識できた。
- ・ 管理監督者向けの労働安全衛生の基本的な考え方に関して、体系的にまとまった図を見たことがなかったので新鮮で参考になった。
- ・ 割れ窓理論を初めて聞き、会社でも活用していきたいと思った。
- ・ まだ入社して1週間くらいで、まだ知らないことがたくさんあって製造工場における安全対策をしっかりと、わからないことは先輩や上司に聞きに行きたいと思った。
- ・ 他業界から転職した身としては、必要最低限の知識を習得するためにも、今回のような研修は大変参考になった。
- ・ 新人や若手以外でも、安全の教育は安全に対することに対しての意識付けを行うことができた。社外の安全の教育資料を見ることで、重要な項目と抜けていた項目などの再確認ができた。管理監督者向けの資料も追加されていて若手以外の参加者もためになった。
- ・ 安全担当者として日々啓発している内容が大半紹介されていた。改めて注意するポイントはどこの会社も共通していると思った。